

7. 平成26年度の重点施策や特徴的な取り組み

五島に活力を！

平成25年3月、総合特別区域法の地域活性化特区に、「椿による五島列島活性化特区」が認定されました。日本一の地域資源である「椿」を活用した産業振興を図ります。

また、離島活性化交付金を利用して、生産者負担の海上輸送コストを軽減し、販売促進・生産量の増加を図り、第1次産業を活性化します。

□農林業振興

優良繁殖雌牛群の整備や地元材を活用した簡易牛舎整備事業に取り組み、「繁殖雌牛5,000頭増頭運動」を積極的に推進します。また、有害鳥獣の生息調査・捕獲により農林産物や生活環境被害の防止を図ります。

□水産業振興

浮魚礁を活用したカツオ・シビなどの漁獲向上、マグロ養殖への支援、水産物の五島ブランド化に取り組み水産業者の所得向上を図り、後継者対策については、漁業研修生の受け入れや、漁船リース事業の活用などで新規漁業就業者の負担軽減に取り組みます。

□商工観光振興

しまのPR及び島外からの誘客、しまでの消費促進を図る取り組みとして、平成25年度から3年間、県内のしま限定で使用できる「しまとく通貨」を発行しています。市内の宿泊施設で割引サービスなどが受けられる「お宿もちキャンペーン」など、五島市独自の取り組みと連動させ、観光客の増加にもつなげます。

平成26年度から東京事務所・福岡事務所を開設し、観光客や修学旅行の誘致、農林水産物をはじめとした特産品の斡旋・紹介など五島市の知名度向上を図ります。

【主な事業】

- 離島輸送コスト支援事業
- 肉用牛繁殖雌牛5,000頭増頭運動
- 有害鳥獣被害防止総合対策事業
- 漁業後継者育成事業
- しま共通地域通貨の発行及び利用促進事業



【愛称】しまうまっち

ネーミングとしての愛らしさはもちろん、「まっち」とは、「match」に通じることを意図しています。「match」は「釣り合うこと」で、しまとく通貨を使うことで、しま町の魅力がもっとよくわかる→「理想」と「現実」、「期待」と「実際」が「マッチすること」を表しています。



暮らしを守る！

□医療福祉対策

市民の皆様には質の高い医療を提供するため、ICTを活用して地域完結型医療の構築として、調剤情報の共有化に取り組みます。

□カネミ油症被害者対策

カネミ油症の被害は、今日も継続しています。引き続き未認定被害者の救済や市の医療費の立替問題、根本的な治療法の解明などの課題解決に向けて、被害者の会への活動支援に取り組みます。

□防災力の向上

新消防庁舎、消防救急無線デジタル化、防災行政無線の消防3事業が完成し、4月から業務及び運用が開始されます。施設の活用で地域防災体制を強化し、五島市の防災力向上を図ります。

【主な事業】

- 地域医療情報共有化事業
- カネミ油症対策事業
- 企業団病院運営費負担金



子どもたちに島をたくす！

□子育て・教育環境の充実

平成26年度から国に先駆けて、国際社会に対応できる人材を育成するため、小学校1年生からの英語教育に取り組みます。

□スポーツの振興

平成26年10月「長崎がんばらんば国体」が開催されます。市民総参加のおもてなし国体を目指して、魅力ある大会にしていまいます。また、スポーツ合宿を誘致し、スポーツによる「まちづくり」と「賑わいづくり」による地域の活性化を図ります。

□教会群の世界遺産登録

教会群の世界遺産登録を目指し、県及び関係市町村と連携して、広報啓発や受入体制の整備を積極的に進めます。

□再生可能エネルギーの島づくりと自然環境の保護

平成26年1月、再生可能エネルギーを活用した五島市の将来像を示す構想や計画を策定する「五島市再生可能エネルギー推進協議会」を設立しており、関連企業の誘致を目指しながら、地域産業の育成や雇用創出につなげます。



【主な事業】

- 「プロジェクトG」小学校からの英語習得事業
- 長崎国体開催事業
- スポーツ交流人口拡大推進事業
- 世界遺産登録推進事業
- 再生可能エネルギー推進事業

